

令和4年度 茨城県職員採用試験 高校卒業程度説明会

職種別説明会：農業

令和4年7月10日（日）

普及センターとは

県内 1 2 普及センター

県北農林事務所 経営・普及部門、**常陸大宮地域農業改良普及センター**
↑ 5年目～ 勤務

県央農林事務所 経営・普及部門、**笠間地域農業改良普及センター**
↑ 1年目～4年目 勤務

鹿行農林事務所 経営・普及部門、**行方地域農業改良普及センター**

県南農林事務所 経営・普及部門、**稲敷地域農業改良普及センター**
つくば地域農業改良普及センター

県西農林事務所 経営・普及部門、**結城地域農業改良普及センター**
坂東地域農業改良普及センター

県央農林事務所 経営・普及部門 (水戸地域農業改良普及センター)

入庁から4年間勤務

経営課



全域

地域普及第一課



水戸市・茨城町
大洗町

地域普及第二課



小美玉市

地域普及第三課



ひたちなか市
東海村・那珂市

採用1年目

- ・新規採用職員研修など研修に追われる1年
- ・フレッシュマントレーナー制度

主な業務

- ・若手農業者育成（農業学園）
- ・野菜類の生産振興

若手農業者育成

農業学園

- ・管轄地域の新規就農者を対象に、農業の基礎知識について講座を開催する。地域によって異なるが年間7回程度開催



事務

- ・文書作成、起案の基礎
- ・スケジュール管理

その他

- ・若手農業者との交流
- ・農業知識の向上



若手農業者育成

4Hクラブ

- ・地域の若手生産者グループ
- ・プロジェクト活動を通して資質向上を目指す



- ・地域によってプロジェクト内容は異なる。
クラブ員をサポートしながら課題解決を図り、
若手農業者を育成

野菜類の生産振興

生育、収量調査

- 主にトマト、キャベツ、メロン等の生育調査
- 品種や栽植密度（株間×畝間）の違いによる変化の他、各種調査を行う
- 調査内容は各地域の技術的課題に即したものをを行うことが多い



- 調査結果は講習会や個別巡回にて生産者や関係機関にお返しする

2年目以降の業務

農業職採用かつ普及センター配属→特技(専門項目)

野菜経営・作物経営・花き経営・果樹経営・経営及び流通・

アグリビジネス

地域の野菜振興

キャベツ、トマト、イチゴ、ネギ、コマツナ、ホウレンソウ
など...

特に茨城町で作付が拡大しているキャベツを重点的に担当

**普及計画に基づいた業務、農家対応、講習会対応などを
任されることが増える**

2年目以降の業務

講習会

- 生産者の育苗技術習得を目標にマニュアルを作成し、講習会で生産者に提供
- テキストだけでなく、写真や図を挿入し、飽きることなく見てもらうように工夫

キャベツ育苗マニュアル

県央農林事務所 経営・普及部門

1. トレイ・培土選択

(1) セルトトレイ

- 根巻防止トレイを併用する。
- 根巻しづらいため、定植後の発根がしやすく活着の促進が見込める。



(2) 培土

- 根鉢形状のよい苗をつくるため孔底径が大きい(軽くて通気が多い)培土を併用する。
- 孔底径が小さいと根鉢が壊れやすく、根鉢定植における抜き取りが難しくなる。
- 根鉢定植には根鉢が壊れにくく、苗の抜き取りが容易なものを選択する。

2. 播種

(1) 準備

培土によって異なるが、トレイに土を詰める前に少量の水を加えて(例:培土50Lに対して水1~2L程度)、かき混ぜ、発芽・発根を促進する。
【タキイ等から販売している含水セル培土と水を加える手順が省ける。】

(2) 覆土

- 覆土の厚さは約8~10mmになるよう確保する。
- 高温期(秋作)の場合、通気性に優れたパーミキュライトを覆土として使用すると地温の上昇を防ぎ、発芽・発根が促進される。
- 覆土後、トレイの下から水がほんの少し落ちる程度に灌水する。
(コート種子の場合は、播種より灌水量は多め)、灌水量が多すぎると、肥料成分が薄くなるので注意する。



(3) 発芽

- 発芽までは、種に水分を吸収させるため2晩控播する。
- 控播材としては新聞紙や肥料袋等が適している。
(秋作の育苗では日よけのため、ダンボールでも良い。)
- 控播材の除去が発芽後になってしまうと、徒長・曲がり苗の原因になるため、発芽前に除去する。(特に秋作では注意！)
- 控播材の除去や重ねたトレイを広げるのは、夜間の強日射による葉焼けや夜間の徒長を防ぐため、午後~夕方の時間帯での作業が望ましい。



高温期(秋作)の育苗時は育苗箱を重ねて遮光の代わりに

発芽適温: 20~25℃ 発芽日数: 2~3日

(あくまで目安であり、ハウス内の環境条件によって発芽日数は前後する可能性有)

3. 管理

(1) 基本的な水管理

- 苗1回灌水する。(水切れして乾燥している場合には昼も灌水する)。
- 朝は多め、昼は少め夕方までに蒸散が乾く程度。
- 曇雨天時は、乾いた部分のみ灌水する。
- トレイの外側は乾燥しやすく、苗も小さくなりやすいので多めに灌水する。



物販タイプだと灌水ムラを避けやすい。

(2) 本葉1~2枚時

- 灌水ムラによる生育のバラつきが低くなりやすいため、生育の遅い部分・乾きやすい部分には多めに灌水をする。
- 灌水量が十分にも関わらず、生育が遅い場合には液肥を与え、生育を揃える。

(3) 本葉3枚以降

- 生育が旺盛になり、葉数が増えるので1日あたりの灌水量を増やす。
- 若化苗を定植すると活着が遅れるため、透明での定植をこころがける。
- 透明に届えられない場合は肥料切れを疑いこまめに、液肥を与える。

直射光

- 夕方以降は水を控えたい! 一午後からの灌水量で調整。
- 風通しを十分に! → 風通しのよい場所を選ぶ、内側からサイドに向けた、扇風機の使用も有り。
- トレイ下部に空間を! → 余分な水分を排水させるため、トレイ下部に空間を設ける。



4. 定植準備

- 強い光や風通しを併用し、国外で3日以上馴化させる。
- 苗をかく仕上げることに伴って根巻防止と定植後の活着促進につながる。



約30cm



地温に直撃していたものを定植後により管理し覆したとこ、根鉢が壊れた。

3年目 特技研修

産地で問題となっている病害虫、地域課題解決のため半年間研究所等で研修を行う

品名	単位	数量	単価	合計	品名	単位	数量	単価	合計
1. 小麦	kg	10	1.2	12	2. 大豆	kg	10	1.5	15
2. 小麦	kg	20	1.2	24	3. 大豆	kg	20	1.5	30
3. 小麦	kg	30	1.2	36	4. 大豆	kg	30	1.5	45
4. 小麦	kg	40	1.2	48	5. 大豆	kg	40	1.5	60
5. 小麦	kg	50	1.2	60	6. 大豆	kg	50	1.5	75
6. 小麦	kg	60	1.2	72	7. 大豆	kg	60	1.5	90
7. 小麦	kg	70	1.2	84	8. 大豆	kg	70	1.5	105
8. 小麦	kg	80	1.2	96	9. 大豆	kg	80	1.5	120
9. 小麦	kg	90	1.2	108	10. 大豆	kg	90	1.5	135
10. 小麦	kg	100	1.2	120	11. 大豆	kg	100	1.5	150
11. 小麦	kg	110	1.2	132	12. 大豆	kg	110	1.5	165
12. 小麦	kg	120	1.2	144	13. 大豆	kg	120	1.5	180
13. 小麦	kg	130	1.2	156	14. 大豆	kg	130	1.5	195
14. 小麦	kg	140	1.2	168	15. 大豆	kg	140	1.5	210
15. 小麦	kg	150	1.2	180	16. 大豆	kg	150	1.5	225
16. 小麦	kg	160	1.2	192	17. 大豆	kg	160	1.5	240
17. 小麦	kg	170	1.2	204	18. 大豆	kg	170	1.5	255
18. 小麦	kg	180	1.2	216	19. 大豆	kg	180	1.5	270
19. 小麦	kg	190	1.2	228	20. 大豆	kg	190	1.5	285
20. 小麦	kg	200	1.2	240	21. 大豆	kg	200	1.5	300

- 計画書作成
- 研究所での調査
- 経営試算作成

より精密で研究所でしか取り組めない試験・調査を実施し、技術を習得



5年目～ 常陸大宮地域 農業改良普及センターへ異動

経営課

地域普及課



※どちらも全域

常陸大宮市・大子町

- ・主にイチゴ、カンショ、多品目野菜を担当
- ・先輩、上司と同行する時もあるが、基本的に1人で業務を任される
- ・国や県が力を入れているスマート農業に係る活動を展開し、アシストスーツや環境制御装置の導入を支援



就職して感じたこと

- ・ 野菜産地に配属されたため、多くの知識が得られる
- ・ 指導したことに対し、生産者の反応をすぐに見ることができ、やりがいを感じる
- ・ 現場対応が多いため、様々な知識を求められる

大切なこと

- ・ わからないことは積極的に質問する（抱え込まない）

就職前に知っておけば 役に立つこと

- 全国の中で茨城県が農業分野において
どういったポジションにいるのか把握しておく
- 生産者への一方的な指導だけでなく、
生産者と共に協力することが必要なことも多い
- 自分が任されたり、手伝う業務は何のための仕事なのか
目的意識をしっかりと持って取り組む

ご清聴ありがとうございました